

自-B

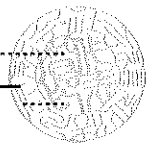
2022年8月5日

2022年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 社会福祉法人天祐会

自立援助ホーム 希望の杜

代表者・役職名 氏名 理事長 高橋 進一



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

網戸取り付け工事とパソコン購入について

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

児童養護施設を退去した後の子どもたちや、事情により児童養護施設に入ることができない子どもたちの受け皿として、また、定員オーバーしている児童相談所保護委託先としての機能を担うべく、2021年4月にオープンしました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

当ホームは15名定員で、申請当時13名の入居者がいました。各入居者に1部屋を用意し、個々の情緒の安定を図りながら自立に向けた準備をしていたところですが、東側建物には網戸がなく、特に春～夏場には蚊や害虫が入り、窓を開けておくことが出来なくなる現状でした。東側にはキッチンの窓があるため、衛生的にも良くない状態となっていました。
当ホームは、児童相談所の保護所が常に定員超えの状態であることから、児童相談所からの受け入れ先としても機能しています。そのため2021年4月開所してから1年経たない2022年1月の段階で、既に13名の子どもたちが生活をしていました。このように、入居者の増加により、部屋に網戸が必要となることと、職員数も増やしたことにより業務の効率化を図るうえでパソコンが必要となりました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

当法人が、網戸の取り付け工事とパソコン購入については、希望の杜の入居者が生活において快適に過ごせるよう、また職員が業務中に効率よく業務を行うことが出来るよう、2022年4月を目標に予定しておりました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- ①網戸取り付け工事について: 暑くなる前に取り付けが完成したことにより、居室は蚊や害虫を気にすることなく窓を開けて空気を通すことができました。キッチンも同様で、特に食事準備や食事をとるキッチン～リビングにあたる部屋であったため、衛生的にも問題がなくなり、入居者やスタッフのストレス軽減に繋がりました。
- ②パソコン設置について: 引継ぎ他をパソコンで管理しており、出勤した際に数人が見ることや、退勤前に引継ぎをパソコンに記載するときにも実務を行うスタッフが重なり、退勤時間が遅れる一因でしたが、現在はスムーズに業務がこなせるようになりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

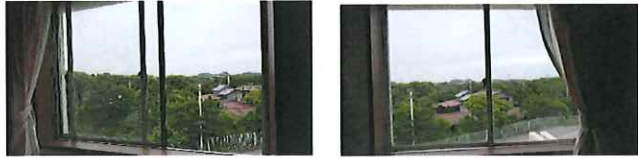
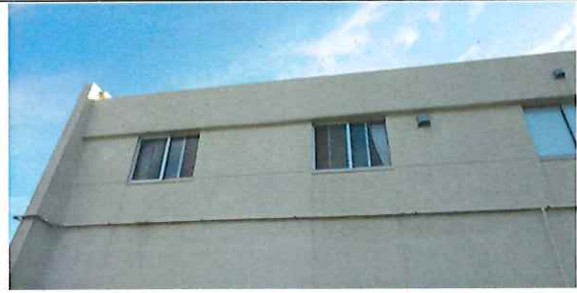
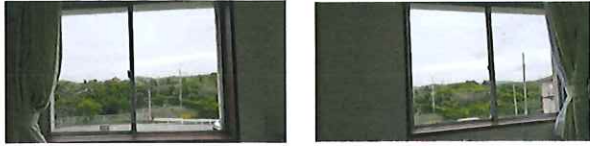
網戸の取り付けとパソコンを購入できたことにより、よりよい生活が送れ、業務の効率化も図ることができましたので、この件についての課題はありません。他のこれまで使用していた網戸の一部が古いため、枠ごと取り換えが必要となりましたので今後考えていきたいと思っております。

皆様にご支援頂いた想いを大切に、入居者が安心して生活をし、精神的・経済的自立の支援ができるよう、スタッフ一同試行錯誤を重ねながら頑張りたいと思っております。ありがとうございました。

7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

施工前

施工後



パソコン

